



中川原保育園児による、洲本市に伝わる「やだぬき音頭」

# 1000人越える参加者で！

洲本市長、県会議員、中川原町連合町内会長等が式典にご出席くださいました。

前日から心配されていたお天気でしたが、午前中は青空が広がりました。

今後、更に地域に根を張ったお祭りとしてもパワーアップしていきます。まつりの様子は(P.2~3)をご覧ください。



# ふくろう新聞

<発行>  
 特別養護老人ホーム  
 淡路ふくろうの郷  
 広報委員会

洲本市中川原町  
 中川原28番地1  
 TEL:0799-25-8550  
 FAX:0799-25-8551

ホームページ  
<http://www.normanet.ne.jp/~hyoufuku/>



# 大きく育ったよ★さつまいも

台風14号を境に、急に寒くなった気がします。周りを見渡せば、マスクをしたコンコンキツネがちらほらと。風邪やインフルエンザが流行しやすい季節になりました。手洗い・うがい、そしてマスク(もらわない・うつさない)をしっかりと実行しましょう。

中川原保育所のかわいい子どもたちと一緒にサツマイモの収穫をしました。今年で2回目です。

見て！この丸々なさつまいも！▼



▲変なかたちだねえ。

少し肌寒い日でしたが、元気いっぱい園児たちの笑顔に入所者も寒さを忘れ一生懸命サツマイモを掘りました。今年は猛暑の影響か、土が非常に固く、途中で芋が折れてしまうことが多かったのですが、大きいサツマイモを掘り当てると、一同歓声が飛び交い、楽しいひと時となりました。

(加藤千香子)



衣装マラソン☆

▲中川原小学校の皆さん  
手話歌「ともだちになる  
ために」etc.



お茶席



(写真左) 徳島にあります  
地域活動支援センター  
「やまもも」  
初出店！来年も是非！



こちらも初出店！

岡山の津山からお越しくださいました、美作ろうあ協会のみなさん！▲  
B-1グランプリ第3位の実績を持つ「津山ホルモンうどん」。即完売☆



見事な鯛が釣れました～！  
あまのはしだてのお二人  
いつもの息合った南京玉簾。



2011年カレンダー、まだまだ  
あります☆一家に一枚、心く  
らうカレンダー！  
よろしくお願ひします。



新鮮、おいしい中川原の野菜！市原青空会のみなさん▲



入所者の劇、いかがでしたか・・・？  
「鶴の恩返し」ならぬ「ふくろうの恩返し」

ありがとうございました

去る10月24日(日)に開  
催しました第5回ふくろう  
ふれ愛まつりを無事に終え  
ることができました。今年  
は、千人を超える参加を得  
ました。地域にも根づいた祭  
りとして、福祉の村づくり・  
地域づくりへ夢をひろげたい  
と願って行いました。

さいわい、地元市原の新

鮮野菜や、遠くは津山の「ホルモンうどん」、徳島・京都をふくめて28店もの模擬店、舞台でも、明日を担う中川原の子供たちの元気な姿など8団体の熱演をいただきました。初めての試み、「ふくろう検定」も楽しんでいただけたと思います。

準備から後片付けまで、中川原地域交流会の皆さんと力を合わせて行いました。また、クイズの景品寄付や協賛広告のご支援も多くの方々から得ることができ、ありがとうございます。

反省会では、来年への提案として「子供向け企画の充実」が強く望まれました。京都からの参加者が「地域と一体となっている祭りに感動した。来年は私の製作したミニ蒸気機関車に子供たちを乗せたい」とおっしゃっていたのをご意見をお寄せ下さい。

第5回ふくろうふれ愛まつり

実行委員長

足立達哉



「共に生きる」を考える

ふくろう新聞 9月号でもご紹介しました「聴障者精神保健研究集会」。集会実行委員長の野沢克哉さんからご寄稿いただきますので、ご紹介します。

受け止めきれなかった事例を  
きちんと出して

平成22年8月28・29日と開催された研究集会2日目の午後、淡路ふくろうの郷の濱田良介講師による印象的な講演がありました。本来は大矢暹所長が講演予定でしたが都合により、濱田講師に講演をしていただくことになりました。

講演の初めは、ふくろうの郷から同行された入所者の竹辺正晴さん、北川他久美さん、西田梅子さん、富永ゆき子さんによる入所前と後の生活についてお話し(手話で)がありました。このようなやり方は、施

設を利用する方たちの人権・権利が尊重されている証明であります。

引き続き、ふくろうの郷での行事や生活の様子の写真紹介で映し出されるみなさんの表情は生き生きとし、「共に生きる」という理念は説得力を持つていました。

濱田講師の講演内容で私が一番印象に残ったのは、ふくろうの郷で受け止めきれなかったFさんの事例紹介でした。多分、私だけではなく研究集会参加者の多くが、ふくろうの郷ならどんな入所者にも対応できると考えていたと思います。そういう受け止めきれなかった事例をきちんと出していくということはなかなか出



▲講演の様子

来ることではありません。ふくろうの郷の懐の深さという実践の積み重ねを感じました。深みがあり、濱田さんのわかりやすいお話に引き込まれる講演内容でした。

講演・入所者との交流の後は、集会参加者のほとんどの方が、是非ふくろうの郷へ見学に行きたいと考えたのではないかと思います。

第19回聴覚障害者精神保健  
研究集会実行委員長  
野澤克哉

※野沢克哉さん

7歳で失聴。大学卒業後、東京都に就職。聴覚障害者のソーシャルワーカーとして草分け的存在。この研究集会も野沢氏が全国に呼びかけ開始。

一九九八年、東京弁護士会より功績を認められ「人権賞」を受賞。

# 地域を語る

第23回 二夜三時の大法要

宝珠山・光照寺

笹津實照 住職

現在、中川原町内寺院の集まりを庄下結集と呼んでおりますが、古来は炬口地区の西来寺(せいらいじ)を加えた寺院を庄下結集と言います。

この結集寺院を一年に一度持ち回って会所として、特に新精霊をはじめとする檀家各家の先祖供養を行う大切な法要が二夜三時大法要でございます。

法要の中では大勢の僧侶の方が様々な経を口々に唱えを致しております

が、その中の一つに「光明真言」がございます。『おんあぼきやべいろしゃのうまかぼだらまにほんどまじんばらはらばりたやうん』この真言は「破

地獄の功德あり。この真言を見聞誦持(じゆし)すれば無明を除く」と、平安の昔より弘法大師様がお伝え下さ

つており、法要には欠かせない真言となっております。この地獄と言うのは亡くなつてから行く場合と、生きて

いる今現在の自身の心の中にいる場合の二通りがあります。数え切れないほどの自分の先祖や縁者で無間地獄を彷徨(さまよ)している者、そして自分の心の因縁地獄に囚われている者を救う為に「光明真言」をお唱えするのであります。



▲ 光照寺

## 第11回 ふくろう学習会

「ターミナルケアにおける精神的ケアについて」  
2010年11月27日(土)  
15:00~17:00 参加費500円  
講師：鷺尾衛鳳 住職(宝球寺)

「ターミナルケア」「スピリチュアルケア」「傾聴」などをキーワードに講演いただきます。

ご先祖様の供養も然ることながら、ご自身の供養の為に是非この勝縁(しょうえん)にお参り頂きまして、真言を唱えてみてはいかがでしょうか。ご本尊様の御威光が皆様方の心中を照らしませす様ご祈念申し上げます。

※今年12月4、6日、中川原町中川原の光照寺で執り行われます。

## 七施設交流会 in ななふく苑



▲ 交流会終了後、参加者みんなで記念撮影

全国高齢聴覚障害者福祉施設協議会に加盟する7施設が毎年持ち回りで入所者交流会を開いています。

今年10月12、13日と埼玉県の「ななふく苑」で開かれ(昨年は私たちが淡路ふくろうの郷が担当でした)、みんなが楽しいひとときを過ごしました。

来年は北海道の「やすらぎ荘」が担当です。また元氣にお会いしましょう。

## みかんの季節です



今年も平岡農園にみかん狩りに行きます。みなさんも一緒にいかがですか？

みかんには「ビタミンC」以外にも疲労回復効果のある「クエン酸」、ガン予防効果のあるオレンジ色の色素「フラボノイドキサンチン」、スジや袋には血管と血液を元気にする効果のある「ヘスペリジン」と食物繊維の「ペクチン」が含まれていると言われています。みなさんも栄養たっぷりのみかんで健康に。